

2026年度 武蔵大学経済学部
総合型選抜入学試験【課外活動重視型】

試験日 2025年10月11日(土)

試験時間 10時00分～11時20分

【解答又は解答例】

問1 ㉗濃淡 ㉘付加価値 ㉙起爆剤 ㉚潮流 ㉛試算 ㉜停滞

問2

(1) 2022年 $71.2140 \div (1 + 0.134) = 62.7\dots$ 63兆円

(2) 2019年 $71.2140 \div (1 - 0.015) = 72.2\dots$ 72兆円

問3

(1) 10歳代後半 $240 \times 0.225 = 54$ 人

(2) 20歳代 $478 \times 0.178 = 85.084$

$(54 + 85.084) \div (5,493 \times 0.041) = 0.617\dots$ 四捨五入して、62%

※なお、20歳代の回答者数や全体の回答者数を求めるときに四捨五入をしても、同じ答えとなる。

問4

(1) 貯金

食べること、理美容・身だしなみ、ファッション、交際、有名人やキャラクター等を応援する活動、貯金の順

(2) 9個

貯金、理美容・身だしなみ、交際、ファッション、通信、習い事・教室・資格・自己啓発、スポーツ観戦、参加型のイベント、有名人やキャラクター等を応援する活動の9個

(3) 5個

ファッション、通信、習い事・教室・資格・自己啓発、スポーツ観戦、有名人やキャラクター等を応援する活動の5個

問5

<解答例>

推し活に関する個人支出は、今後も幅広く広がっていくと考える。第1に、問題文①③のとおり、好きなアーティストやキャラクターを応援する推し活は、バンド、アイドル、アニメにとどまらず、YouTuberやVTuber、スポーツ観戦やスポーツ選手に波及しており、推しの対象が広がってきていることに注目する。また、カフェやレストランなどの飲食店、お菓子や健康食品などの食品など、身近な生活の中にも幸福をもたらす推しの対象が潜在的に存在していると考えられ、推し活に関する消費は、幅広い世代で、推し活と認識される範囲の拡大とともにさらに広がっていくと考える。

第2に、推し活をより充実したものにする関連費用も大きいことに注目する。規模が拡大しつつあるライブイベント参加のための遠征・滞在に関する旅費、宿泊費、飲食費はもちろん、問題文②で紹介されている推しに会うために衣服や美容にまで支出するところまで広がっている。推し活は、交通・観光・飲食・ファッションを含む個人支出の拡大をさらにもたらすと期待される。

なお、現在、物価高が進行しているが、問題文②③では過半数が影響を受けないと答え、推し活の支出を光熱費のような生活に必要な支出とする意識が示されている。推し活は、物価高にも揺るがない強い消費意欲に支えられ、若者だけでなくあらゆる世代に拡大し、デジタル化の進展や賃上げの後押しも受けながら、幅広い分野で個人支出を拡大させる存在となると考える。

(600字)